ガンタイプ　レーザースキャナ

LS2208-SR20111

拡張データ編集

本書は製品付属の「製品取扱説明書」に記載されていない設定を追加したものです。

【発行】
株式会社エイポック
〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-32-19
鶴見センタービル 2F
TEL:045-508-5201
FAX:045-508-5202
URL:http://www.a-poc.co.jp/

Feb 2007 Rev1.03

概要

拡張データ編集ができること

データを出力した後、Enter を複数回出力できます（最大 254 回出力）
バーコードデータの一部のデータを出力できます

設定の方法

バーコードリーダーでバーコードメニューをスキャンして設定します。
拡張データ編集を行うには、あらかじめ読み取るバーコードの種類を
知っておく必要があります。

【編集の手順】

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	任意で選択	
定義	バーコードの キャラクタ数	任意で選択	対象のキャラクタ数（桁）が固定の場合。省略可。
動作		任意で選択	複数選択
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

【編集の消去】

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
コマンド	消去	全ての編集を消去	
コマンド		編集終了	

設定例

巻末を参照してください。

その他

拡張データ編集は取扱説明書記載の「プリフィックス/サフィックス」とは異なる
設定となります。本書で Enter などを設定する場合は「スキャンデータのオプション（取扱説明書 9-6)」を「データのみ」に設定してください。

コマンド

編集開始

（スキャナが編集モードになりランプが点滅します）

保存

消去

全ての編集を消去

編集終了

（スキャナが編集モードを終了します）

定義

バーコードの種類

Code39

Codabar(NW-7)

RSS 14

RSS Limited

RSS Expanded

Code128

Discrete 2 OF 5

IATA 2 OF 5

Interleaved 2 OF 5

Code93

UPC-A

UPC-E

EAN-8

EAN-13

バーコードの種類（続き）

MSI

UCC/EAN-128

UPC-E1

Bookland EAN

Trioptic Code39

Chinese 2 of 5

Coupon Code

バーコードのキャラクタ数（桁数）

1 キャラクタ

2 キャラクタ

3 キャラクタ

4 キャラクタ

5 キャラクタ

6 キャラクタ

7 キャラクタ

8 キャラクタ

9 キャラクタ

10 キャラクタ

11 キャラクタ

12 キャラクタ

13 キャラクタ

14 キャラクタ

15 キャラクタ

16 キャラクタ

バーコードのキャラクタ数（桁数）（続き）

17 キャラクタ

18 キャラクタ

19 キャラクタ

20 キャラクタ

21 キャラクタ

22 キャラクタ

23 キャラクタ

24 キャラクタ

25 キャラクタ

26 キャラクタ

27 キャラクタ

28 キャラクタ

29 キャラクタ

30 キャラクタ

動作

データ出力

残りのデータを全て出力

次の 1 キャラクタを出力

次の 2 キャラクタを出力

次の 3 キャラクタを出力

次の 4 キャラクタを出力

次の 5 キャラクタを出力

次の 6 キャラクタを出力

次の 7 キャラクタを出力

次の 8 キャラクタを出力

次の 9 キャラクタを出力

次の 10 キャラクタを出力

次の 11 キャラクタを出力

次の 12 キャラクタを出力

次の 13 キャラクタを出力

データ出力（続き）

次の 14 キャラクタを出力

次の 15 キャラクタを出力

次の 16 キャラクタを出力

次の 17 キャラクタを出力

次の 18 キャラクタを出力

次の 19 キャラクタを出力

次の 20 キャラクタを出力

前方スキップ

1 キャラクタ　スキップする

2 キャラクタ　スキップする

3 キャラクタ　スキップする

4 キャラクタ　スキップする

5 キャラクタ　スキップする

6 キャラクタ　スキップする

7 キャラクタ　スキップする

8 キャラクタ　スキップする

9 キャラクタ　スキップする

10 キャラクタ　スキップする

キーストローク出力

Tab

Enter

Escape

Key Pad Enter（テンキー側 Enter）

Right Control Key

＊（アスタリスク）・・・「設定例 6」参照

設定例

表に記載された項目のバーコードを上から順番に読み取ります。

1

【Enter を 2 回出力】

Code39 を読み取り、データの後に Enter、Enter を出力する

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code39	
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	Enter	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

2

【Tab や Enter を出力】

Codabar（NW-7）を読み取った後に、Tab、Tab、Enter を出力する

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Codabar（NW-7）	
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	Tab	
動作	キーストローク出力	Tab	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

3

【データの後方削除（途中まで出力)】

Code39 の 10 桁目までを出力する（11 桁以後は出力しない）

データを出力した後、Enter を出力する

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code39	
動作	データ出力	次の 10 キャラクタを出力	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

4

【データの前方削除（途中から出力)】

Code128 の 5 桁目から後を出力する（1～4 桁は出力しない）

データを出力した後、Tab、Enter を出力する

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code128	
動作	前方スキップ	4 キャラクタ　スキップ	
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	Tab	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

5

【データの前方と後方を削除（中間を出力)】

Code39 の 3 桁目から 4 桁分を出力し、6 桁までを出力する

（１～2 桁と 7 桁以後は出力しない）

データを出力した後、Enter を出力する

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code39	
動作	前方スキップ	2 キャラクタ　スキップ	
動作	データ出力	次の 4 キャラクタを出力	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

6

【Code39 のスタート・ストップキャラクタ＊（アスタリスク）を出力する】

LS2208 には「Code39 のスタート・ストップキャラクタ＊（アスタリスク）を出力する」というパラメータがありません。そのため、拡張データ編集を利用して設定します。

日本語 Windows でスキャナを使用している場合は、データ編集の設定を開始する前にキーボードタイプを設定してください。

このメニューについては、次項にバーコードメニューをまとめて記載しております。

項目		読み取るバーコード	備考
		USB キーボードタイプ 日本語版 Windows(ASCII)	必須 ブザーが鳴り終わったら次へ
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code39	
動作	キーストローク出力	＊	
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	＊	
動作	キーストローク出力	Enter	任意で設定 不要なら省略
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

設定メニュー：Code39 のスタート・ストップキャラクタ＊（アスタリスク）を出力する

USB キーボードタイプ　日本語版 Windows(ASCII)

（スキャナ上部のランプが消えて、ブザーが鳴り終わってから次に進んでください）

編集開始

定義　バーコードの種類　Code39

動作　キーストローク出力　「*」

動作　データ出力　残りのデータを全て出力

動作　キーストローク出力　「*」

Tab、Enter は必要な場合にスキャンします。不要ならスキャンしません。

動作　キーストローク出力「Enter」

動作　キーストローク出力「Tab」

保存

編集終了

（デフォルト設定）

（設定を初期値に戻します）

7

【バーコードの種類ごとに異なるサフィックスを設定する】

次の例で、読み取るバーコード設定メニューを説明します。

「Code39 を読み取った時、サフィックスに Enter を出力し、Interleaved2of5 を読み取った時、サィックスに Tab を出力する」

※サフィックス＝バーコードデータの後に出力する文字およびファンクションキー

項目		読み取るバーコード	備考
コマンド		編集開始	
定義	バーコードの種類	Code39	
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	Enter	
コマンド		保存	
定義	バーコードの種類	Interleaved 2 OF 5	デフォルトは 14 桁のみ読み取ります 参照：説明書 8-36～8-38
動作	データ出力	残りのデータを全て出力	
動作	キーストローク出力	Tab	
コマンド		保存	
コマンド		編集終了	

例と異なるバーコードの種類、ファンクションキーを設定する場合は設定する内容に読み替えてください。

付録　サンプルバーコード

WPC（JAN、EAN、UPC）

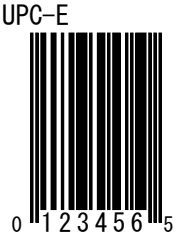
JAN-13

JAN-8

JAN-13　Add on 5(新雑誌コード)

UPC-A

UPC-E



付録　サンプルバーコード　（続き）

2of5

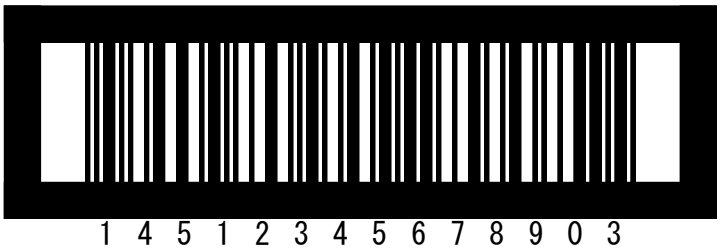
Interleaved2of5　(CD 無し)
10 桁

12 桁　CD 有り　Mod10Weight3

2 桁

（出荷時は読み取りません）

ITF-14(標準物流コード)　0.6 倍



付録　サンプルバーコード　（続き）

Codabar(NW7)

NW-7(Codabar)

10桁

（出荷時は読み取りません）

1桁

（出荷時は読み取りません）

10桁　CD有り　Mod16

（出荷時は読み取りません）

付録　サンプルバーコード　（続き）

Code39

Code39
8 桁

9 桁　CD あり　Mod43

1 桁

付録D　サンプルバーコード　（続き）

Code93,MSI/Plessey

Code93

（出荷時は読み取りません）

MSI/Plessey

（出荷時は読み取りません）

付録　サンプルバーコード　（続き）

Code128,UCC/EAN-128

Code128

UCC/EAN-128

（別途「UCC/EAN-128 設定メニュー」を参照してください）